

平成28年度 学校法人 三幸学園 横浜リゾート&スポーツ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 斎藤 政臣

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 伊藤 啓司

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 重点施策振り返り

●退学率低減・皆精勤率向上

→H27年度から皆精勤率向上の為に担任とクラス委員との連携強化、生徒同士のアプローチも強化した。

また、皆精勤優秀クラスを表彰するなどの取り組みも行った。

●産学連携の強化

→ルネサンス様、DeNA 様との連携を強化。ルネサンス様とは、より実践的な授業カリキュラム導入に向け連携の強化を図った。DeNA 様とは DeNA 様の野球スクール運営補助として当校生徒に機会をいただいている。

② 学校関係者評価委員会コメント

●福祉スポーツコースを専攻している生徒は他のコースに比べ人数が少ないが、生徒同士で刺激しあっていた様子があった。現在、1年生のスポーツビジネスコースも“スポーツ”に興味がある。切磋琢磨している様子を見受けられるのでいいと思う。

●高校側での動機付けにも工夫をしている。在学中の段階から、通学する事、進学する事をアプローチしていきたい。通信制高校の生徒がこれからも増えると考え、サポート体制・アプローチ方法を強化していく必要がある。

●皆精勤率を見ると、2年生が退学者は減っているが、一方で皆精勤率が下がっているのが何故か、背景・傾向を把握していく必要がある。退学者の理由について時期によって、理由は変化するが、近年は経済的な問題を理由とする退学者が増えてきている。

●在学中も勉強についていけないと思っているクラスメイトも居た。専門学校へ入学した時に一番は“仲間”が大切。自分がやりたいと思って入学してきた学校では頑張るようになる。通信制高校の生徒でも自分がやりたい事には熱中して出来る生徒も居る。

●挨拶はすごくいい所だと思うので、引き続き心のこもった挨拶を習慣化する事で、より人間性の向上を期待する。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

●教育理念、目標をまずは生徒に浸透させていくこと

② 今後の改善方策

【H28 実施策】

- 浸透方法として目指す人物像の掲示を行った
- 生徒自ら情報をキャッチする習慣づけとして教務掲示板を活用した

【H29 実施策(案)】

●HRにて人材育成方針を伝える機会を設ける（スポーツを通じて、健康と楽しさを提供する人材）

③ 特記事項

●業界ニーズを深く理解し、教育に活かしていくことを目的とし複数の関連企業、団体と産学連携し、教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となれる人材育成を積極的に実践している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

掲示板の活用は良いと思う。社会人に向けての訓練のひとつとして良い方法だと思う。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

- 情報システムを使用することが業務の効率化につながるというメンバー間の意識レベルに差がある
- 新しい教員にも三幸学園や横浜リゾート&スポーツ専門学校の方針を伝えていく必要がある

② 今後の改善方策

- 掲示板の利用を浸透させ、HRを有効活用し情報伝達の漏れを防ぐ
- 平成29年3月に新入教職員を対象とした入社前研修を実施した

③ 特記事項

- 定期的(年3回:3月、8月、2月)に教職員の会議を実施し、運営方針等の浸透とともに情報共有を積極的に行っている。※H28年度8月は台風の為、中止となった。

※全体会議時に学科会を行っている(H28年度は3月、2月の2回実施)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 新入教職員向け研修を行う事は、非常に大切なので継続して頂きたい。

また、定期的に教職員会議があるので運営方針等の確認をする時間を設け、共通認識を持ち日々の生徒指導に活かしてもらいたい。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4	3	2	1

関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- 新しい教員含め、成績判定基準に曖昧なところがある
- 教科間、教員間で成績評価基準に差がある

② 今後の改善方策

【H28 実施策】

- H28 年度始めに全体会議にて改めて判定基準について確認を行った

【H29 実施策(案)】

- あきらめない教育の理解を深める為に、成績判定会議・全体会議で繰り返し伝える
- 各教科で成績評価基準を提出してもらおう事を検討

③ 特記事項

- ルネサンス様の休館日に施設見学兼スポーツクラブでの実体験を積ませていただいた(9月に見学、2月に施設利用をさせていただく)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 成績は平等でなくていいので、公平感を出す事が大切。皆精勤がどのように社会に繋がっていくかを噛み砕いて動機付けをする必要があると思う。生徒に事前に提示する事により、納得感が出て公平が出ると思う。
- 現場実習の評価において、実習先によつてのバラツキがある。一定の基準があると良いと思う。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	3	2
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

- 資格取得のための受験率及び取得率の向上
- 退学率の低減

② 今後の改善方策

- クラス状況報告を週1回の担任会議にて共有。また担任以外の教科担当にも情報を共有し学校全体として退学率低減に取り組む
- 授業内で資格取得のための動機づけの強化。教科担当を中心に担任からもサポートを行う。

③ 特記事項

【退学率】

H28 年度 健康スポーツ科 退学率 10/151 名 6.62%

H27 年度 健康スポーツ科 退学率 16/146 名 10.96%

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 取組の成果が見られ、退学率も下がっているので引き続き学校全体として頑張っていってほしい。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
中途退学者への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- 卒業生 SNS として「SANKO リンク」を設置しているが、まだまだ認知を含めて不足している。

② 今後の改善方策

【H28 実施策】

- 卒業生講話(リポート)をH28 年 10 月に実施 ※H29 年度は定期的実施する予定

【H29 実施策(案)】

- 幸い卒業生が学校に来てくれる機会が多いので、来校してくれた卒業生に対してリーフレットを配布し認知拡大に努める
- H29 年 8 月に同窓会を実施する

③ 特記事項

- 就職サポートシステムとして複数名の教員による就職支援システムを構築している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 卒業生は学校にとっての宝だと思うので、引き続き繋がりを大切にしてほしい。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- 特になし

② 今後の改善方策

- 年 2 回(4月、9月)学年別に避難訓練を実施

③ 特記事項

- 更なる充実を図るため、毎年、実習・インターンシップの新規開拓を行っている
- 平成 28 年度はアメリカ(ロサンゼルス)への海外研修を実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

特に無し

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
入学選考は、適正に行われているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

- 特になし

② 今後の改善方策

- 特になし

③ 特記事項

●学納金の決定の際には、他校の学費水準も把握した上で決定している

④ 学校関係者評価委員会コメント

特に無し

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

●特になし

② 今後の改善方策

●特になし

③ 特記事項

●生徒募集は順調に推移しており、予算も概ね計画通り推移している。財務基盤は安定している状態であるといえる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特に無し

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

●更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

●教職員会議や掲示物を通じて、法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

③ 特記事項

●平成26年度自己評価結果より公開開始

④ 学校関係者評価委員会コメント

特に無し

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

●一般の方向けの公開講座が少ない

② 今後の改善方策

●地域貢献につながる公開講座を積極的に実施していく

③ 特記事項

●ボランティア活動については、積極的に取り組んでいる。特にスポーツイベント支援、スポーツチーム支援、幼児スポーツ支援等を中心に様々な活動を実施している。その為、業界関係各位からは、指導者を育成する専修学校という観点から、高い評価を頂いているので引き続き、力を入れていきたい

●平成 28 年度 10 月 横浜ビー・コルセアーズ 2016-17 シーズン ホームゲームボランティア

●平成 28 年度 12 月 クラブワールドカップセレモニーボランティア

④ 学校関係者評価委員会コメント

●現在は高齢者を対象に様々な講座を公開している大学が増えてきている。是非、今後は地域に開けた学校として先生方にも協力を頂き生徒と共に実施してもいいのではないかと。

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 課題

●留学生の受け入れは積極的に行えていない現状あり

② 今後の改善方策

- 今後の留学生向け説明会、ガイダンスには参加していく

③ 特記事項

- 平成26年度から「留学生学費減免入学」制度を導入している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- 留学生の就職先としては、ルネサンスがベトナムにも店舗があるので、就職先の視野に入れて頂きたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的に評価すると、教育活動、財務等については整っており、学生募集状況も順調であると言える。

教育活動においては業界内でもトップレベルの講師陣を揃え、カリキュラムも“業界が求める人材”を基にルネサンス様にも協力いただき産学連携の観点からも作成されており、非常に充実している。

一方で地域との連携、卒業生に対するアプローチが不足しており、今後に向けての課題と思われる。

更に担任力の強化や学校全体として教務力の向上を図ると共に、退学者数、退学率の低減を確実に進めて行く。

その為にも、各教員が“生徒のために”との統一認識と教員という仕事に責任を持ち、行動することが求められる。学校の取り組みや体制を全教職員に理解・浸透させていく取り組みや機会を増やし、今以上に業界や地域から信頼され、必要性の高い専修学校になるよう、より良い学校運営に取り組んで行きたい。